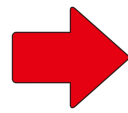


Before

リフォーム情報

After



屋根の塗替え・外壁塗替え



大切な家のメンテナンス

創業110年の信頼と実績 太田工業株式会社 ☎0120-552-448

ミャンマーの平和を願うチャリティーコンサートを終えて

8月10日甲府商工会議所にて行われた「すわじゅんこ・チャリティーコンサート」にて集まった寄付金は116,185円でした。ミャンマーの通貨にして1,740,000チャットを送金し、70家族分のお米、油、たまごを市民の方々に送ることが出来ました。玉諸地区の方もチャリティーコンサートにご参加いただきました。



【エコキャップ運動】

里吉3丁目自治会様、上阿原新田自治会様、浅野り様（上阿原）、前原美智子様（上今井町）大沼富士夫様（国玉町）匿名希望様、ご協力ありがとうございました。

エコキャップ回収報告：エコキャップ数37,500個（75kg）、寄付金額150円でした。

※皆様からご提供いただきましたキャップは国土興産様のリサイクル工場にて様々な製品の原料として再生され、その後プラスチック製品原料として売却されその代金が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付され開発途上国の子ども達へのワクチン代となっています。

ワクチンの参考価格はポリオ（約20円）MMR（約114円）BCG（約7円）はしか（約95円）DPT（約9円）五価ワクチン（約175円）です。ペットボトルキャップは捨てればゴミ、活かせばワクチンとなり子ども達の命を救っているのです。



編集後記

朝夕すっかり涼しくなりました。コロナの終息がなかなか見えてきません。運動会や修学旅行の形も様変わりを余儀なくされています。新型コロナウイルスから次の時代への道筋がなかなか見えてきません。早く元の生活に戻る事を祈るばかりです。

人にはいろいろなタイプがいるようです。この深刻な事態にあっても楽天的な人がある一方であれこれ心配ばかりする人もいます。ともあれ、深刻な事態を打開するには、手段やタイミングなどを考えて、地道に着実に実行に移す必要があります。現在の世界的な心配事も良いと思う事を着実に実行することが当面の私がすべき事なのではないでしょうか。とりあえず、手洗い マスク 消毒ですね！



学ぼうとする
心があれば
道は自然に開ける
能満寺

第182号2021年10月1日発行

地域情報紙・チャオチャオわいわいクラブ!!



太田工業株式会社

〒400-0824 甲府市蓬沢町1146 ☎233-6588 fax 235-4809

https://www.ota-kogyo.com 発行人 太田丈三 編集人 落合洋子



コロナ禍の一年半が過ぎ、玉諸を思う

吹く風に、秋の気配を感じる頃となりました。

皆様には日頃より玉諸地区の町づくりの活動に、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルスは、依然として猛威を振るっており、各地の感染者数のニュースに、一喜一憂の日々を過ごされていることと思います。

山梨県に発令されておりました蔓延防止重点措置が9月12日に解除されましたが、社会生活において注意自粛が求められており、新型コロナウイルス発生前の社会生活には未だ戻れない状況です。

令和2年度、3年度と玉諸地区自治会連合会は、各種団体と連携をとりあう中で、従来通りの組織づくりを行って参りました。しかしながら、コロナ禍のため昨年度は行事の中止が多くありました。今年度も各種団体の定期総会を书面決議とし、計画されている行事の扱いに苦慮しているところであります。新年祝賀式、道祖神等、神事に係わる行事は各町、各自治会、それぞれ工夫を凝らし、感染対策を十分に行い、規模を縮小して行われましたが、郷土の祭り・御神幸さんは、各町内への神輿渡御を実行委員会で延期・中止を決定し、昨年と同様、玉諸神社により、関係者の密集を避けポンボコさんで各町への渡御が実行されました。各種団体による今後の行事についても、中止・延期・考慮中と行事内容により様々です。

市民みんなで新型コロナウイルス 感染拡大を防ごう！
基本的な感染予防対策を一人一人が実行し、感染拡大を防ぎましょう。

一全国知事会発一

～「おもいやり」と「やさしさ」の輪を広げましょう～

私たちが闘う相手は、新型コロナという「ウイルス」であって「人間」ではありません。みんなの隣人を責めてもウイルスは無くなりません。新型コロナは、あなた自身も含め誰もが感染しうる病気です。新型コロナとの闘いを克服していくため、ひとりも取り残されず、みんな人間として、命も健康も、そして平穏な暮らしも、私たちみんなの決意と実践で守り抜いていきましょう。

玉諸地区自治会連合会
会長 渡邊 康雄

また、こうしたコロナ禍で災害による避難指示が発令される場合も考えられます。避難所での感染対策や一時避難に必要な物は住民自身で消毒・マスク・服用中の薬・水・スリッパ・子どものおむつ・ミルク等々、ひとまとめにして持参出来る様に準備しておきましょう。

この夏、1年延期された東京五輪が開催されました。国境を越えて世界中から選手が集う姿にふれ、感染対策の必要性を再確認するとともに、今大会の貴重さを実感いたしました。中でも、新しいスタイルでのメダル授与は印象に残り、今後はこのようなスタイルが世の中に定着してゆくことでしょう。

これからも、新型コロナウイルスの感染予防に努め、何事も無理をせず、今できる事を実行していこうと言う前向きな気持ちで自治会を皆で運営できたらと考えています。コロナ収束後に、元気で笑顔あふれる地域活動が再びできるように！



弊社は、1912年に太田塗装店として甲府市舞鶴城近くの桜町に誕生しました。昭和48年に現在の蓬沢町に移転し、以来この地にて建築仕上工事を行っています。「チャオチャオわいわいクラブ」は地域貢献として毎月1日、五味新聞店様のご協力により玉諸地区へ3000部、山梨日日新聞の折り込みでお届けしています。どうぞお楽しみください。

創業110年の信頼と実績 塗装・リフォーム 太田工業株式会社 ☎0120-552-448

地域情報紙チャオチャオわいわいクラブは太田工業株式会社が取材・編集・発行をしています。

～甲府水害の歴史～

舞鶴城公園にそびえ建つ謝恩塔（謝恩碑）が明治期、山梨に壊滅的な被害をもたらした大洪水を後世に伝えるための塔であることをご存じですか……



明治期は水害が多発し記録に残る水害は35回で、次の事が記されています。明治31年9月5日から7日にかけ台風が襲来、笛吹川堤防が決壊しました。甲運地区浸水80戸 玉諸地区浸水243戸 田畑冠水210ヘクタール 山城地区家屋全壊52戸 浸水447戸 田畑冠水520ヘクタール 御岳町で家屋敷数戸及び金桜神社燈籠数十基流失しました。

明治39年7月15日、16日の両日豪雨襲来。荒川三ツ水門付近が決壊し、太田町より南は水深は2m強に達し、いかだを組んで被災者を救出しました。



明治40年8月21日から25日までの5日間降り続いた豪雨は、甲府で315ミリを記録（甲府の8月平均雨量156ミリ）。県内大小河川のすべてが氾濫しました。

甲運村川田（現・川田町）明治40年

甲府は甲運、国玉、西高橋地区に被害が多発しました。この時代、小瀬・蓬沢・西高橋あたりの家には非難のため船の備えがありました。

今でもこの地区は水害被害が起こる地区とされています。

同豪雨は峡東一帯にも被害を多く出し、石和付近では笛吹川がその川筋を変え、濁流に追われた96人が必死に一本の柿の木によじ登り、日間飲まず食わずで柿の木の上で水が引くの待ったとされ、この木の所有者の妻は木の上で産気づき、無事出産したといわれています。

甲運橋は流失、家屋が流されてしまった石和の住民に向け甲府側から笛吹川に鉄線を架け、滑車で医師、食料、衣類を運びました。この豪雨の被害は山梨県全域で死者232人、壊されたり流された家屋は1万2千との記録されています。



kofu500より抜粋

【11月号は 明治43年8月からの 甲府水害の歴史の続きを掲載予定】

新しい生活様式=ウイスクロナ（コロナとの共存） ～家族が快適にお家で過ごすためにリフォームをはじめ～

COVID-19(新型コロナウイルス)の感染拡大によって外出が出来ない日々、未だ世界中で感染拡大が起きています。これまで多くの感染症が人類を苦しめて来ましたが撲滅できたのは天然痘のみということをご存じでしょうか……COVID-19はあと数年間は変異を繰り返すと言われています。私たちの生活様式も大きく変わって来ました。

家で過ごす時間が長くなっているいま、弊社にも家の改修をご依頼されるお客様が増えてきました。

玄関に手洗い場を設置したい。リビングを増築したい。キッチンリフォームしたい。空き部屋を防音室にしたい。お風呂の浴槽を変えたい。リモート会議やリモート学習のできる部屋を作りたい等々です。また、リフォームを機に断捨離を行い室内をバリアフリー化し老後のご準備をされる方、庭木を無くし芝のみにしたり、枯山水や苔庭にするお客様もいらっしゃいます。



住宅のお困りごと、トイレ・キッチン・浴室・増改築・外壁塗装・屋根の防水塗装・アパート・マンション・事務所ビルのメンテナンスは創業110年の信頼と実績、安心施工の太田工業株式会社にお任せ下さい。 ☎ 0120-552-448

花手水（はなちょうず）

「花手水」とは、神社や寺院でお参りする前に手や口を清める『手水舎』を、花々で飾ることです。『手水舎』には、常に水が流れている水盤（鉢）があって、柄杓（ひしゃく）が伏せて置いてあります。この柄杓を使って、水で手や口を清めること。または、この水そのものを手水（ちょうず）といいます。最近では個人宅で花手水を楽しむ方もちらほら、コロナウイルス感染予防のため室内に入る前の手洗いを花手水で行うそうです。素敵ですね。



はなちょうず
花手水

子ども達の安全を守るグリーンベルト



学校までの通学路には、道路の路側帯が緑色に塗られたいわゆるグリーンベルトが多く設けられています。道路の片側あるいは両側に設置されていて、特に通学路となっている道路において、グリーンベルトを車で走行したり、歩行者の通行を妨げるようにして車両が駐車していることがあります。そのような場合、通学途中の子ども達は、駐車車両を迂回する形で車道の部分を歩かなければならなくなりますが、目線の低い子ども達には駐車車両の車体が邪魔になって前方の見通しが利かないこともあり、「本当に危ない」状態が生じます。

ドライバーは以下のことに注意しましょう

① 普通の路側帯（実線1本のみ）の場合、幅75cm以下の路側帯の中に車両を駐車は出来ません。

② 駐停車禁止路側帯（実線と破線2本）や歩行者用路側帯（実線2本）の場合にも、車両を駐停車は出来ません。

③ 幅75センチ以上の広い路側帯の場合、車両を入れて駐車は出来るが、この場合、車両の左側に75cmの余地をとらなければなりません。

